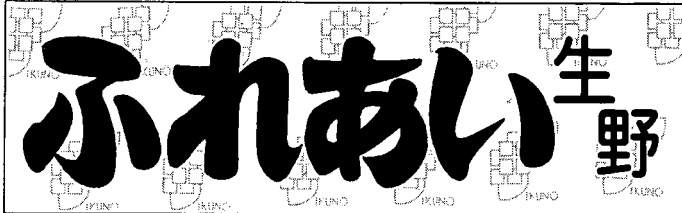


おもな記事

- (1面) 生野区社協ホームページ開設
 (2面) 地域福祉アクションプラン特集①
 (3面) 地域福祉アクションプラン特集②
 (4面) デイサービスボランティアスクール・介護教室報告



第22号

発行 社会福祉法人
 大阪市生野区社会福祉協議会
 〒544-0033 大阪市生野区勝山北3丁目13番20号
 生野区在宅サービスセンター内
 TEL(06)6712-3101(代) FAX6712-3001
 編集 広報紙編集委員会

地域福祉アクションプラン策定

すすんでいます!!

生野区社会福祉協議会ホームページ開設 アドレス <http://ikuno.kusyakyou.or.jp>



社会福祉法人 大阪市生野区社会福祉協議会



トップページ

生野区地域福祉アクションプラン

生野区社会福祉協議会

ボランティアビューロー

在宅介護支援センター

デイサービスセンター

生野区在宅サービスセンター

アクションプランに
 知恵と力をあつめましょう。



- ➡ 生野区地域福祉アクションプランとは…
- ➡ 策定委員会
- ➡ 共同研究者
- ➡ 作業部会
- ➡ 生野AP協働通信
- ➡ 「協働」がキーワード
- ➡ 話し合いのルール
- ➡ 傍聴について

生野区地域福祉アクションプランとは…

2004年度より、区レベルで公私協働により策定される地域福祉を推進する計画。生野区役所と生野区社協が推進役となり、2006年春策定をめざしています。区内で地域福祉に関わる100人を超える皆さんに参画していただき、策定作業をおこなっています。

策定組織は、策定委員会と作業部会があります。具体的な作業を月1回程度の頻度でおこなう作業部会と、策定委員会はその成果を確認、決定していきます。

なお、作業部会として、高齢者、こども、障害者、女性、在日韓国朝鮮人・外国籍住民の5つの部会が設置されています。また、各部会の間の調整などのために、作業部会の代表者が集まる会議が2ヶ月に1回開催されています。

大阪市社協「組織運営改革計画」策定により
 区社協にも改革が求められています

社会福祉法により、「地域福祉の推進を図ることを目的とする団体」としての位置づけが明確化され、地域福祉アクションプランの推進においても大きな役割が期待されている大阪市社協・区社協は、社協に相応しい事業の推進、社協活動・事業を支える自立的で効果的・効率的な組織運営が求められており、平成16年12月に「市社協組織運営改革計画」が緊急に策定されました。

その中で区社協に関わる点では、①住民に身近な区社協を核として地域生活支援を進めるため、高齢者に限らず、障害者・こどもも含んだ支援を行っていくこと②認知症高齢者や知的障害者などの地域福祉権利擁護事業を区社協で運営すること③老人センター、トモノス・児童館を住民の地域福祉活動拠点として活用すること④小地域ネットワーク活動・ふれあい型食事サービス事業の実施・ネットワーク委員会活動との一層の連携を深めること⑤様々な事業・活動・協働・連携の基盤となっていくアクションプランの策定・推進を区役所と協働してすすめることなどが提示されています。急いでとりかかるといえるべき事項については、4月からの実施に向け準備を進めているところです。ご理解とご協力をお願いします。

回覧

※お読みになりましたら、次へ回してください※

住民・賛助会員として、あなたのご協力を（生野区社会福祉協議会 ☎6712-3101）

皆さんの知恵と力を

生野区地域福祉アクションプラン

来年度末（二〇〇六年三月）の策定をめざして、現在策定作業が進んでいます。作業を中心に進めているのが高齢者、こども、しょうがい者、女性、在日韓国朝鮮人・外国籍住民の五つの作業部会です。各部会がそれぞれ主体的に今の生野区の地域福祉課題について明らかにするための作業を行っています。

二〇〇五年六月には、中間報告書を各作業部会でまとめ、中間報告会を開催する予定です。中間報告会では、区民の皆さんにこれまでの作業の成果を報告するとともに、「意見をいただく機会」とします。その後、校下での住民座談会なども企画されていますので、より多くの皆さんの参画がいただけると考えています。

皆さんの知恵と力をお寄せいただいてすばらしい計画となるようにこれまでもご理解協力よろしく願います。

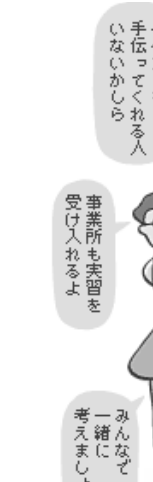
策定委員会

中核的な組織

策定委員会は、各作業部会

で検討されたことを総合的に検討・確認をおこない、策定作業全般について決定を行う中核的な組織です。

この策定委員会は、区民公募に応じていただいた方や地域福祉の関係者など、右下の策定委員会メンバーのとおり区内外の広い分野から三十七名の方の参画を得



二月末現在で、すべての作業部会で五回の会議や役員会等を開催、策定作業が進んでいます。この作業部会での作業の中間点での成果を区民の皆さんに報告するのが中間報告会です。策定委員会検討の上、今年六月に開催予定です。

中間報告会

二月末現在で、すべての作業部会で五回の会議や役員会等を開催、策定作業が進んでいます。この作業部会での作業の中間点での成果を区民の皆さんに報告するのが中間報告会です。策定委員会検討の上、今年六月に開催予定です。

住民座談会

地域（校下）の福祉会館等で、地域住民や各種団体、地域に拠点を置く機関・専門家などが集い、地域福祉をテーマに話し合い、計画に意見を反映させていくしくみとして、住民座談会も有効な方法です。

より広く区民の声 反映



平成14年度の勝山地域での住民座談会「わがまち福祉トーク」

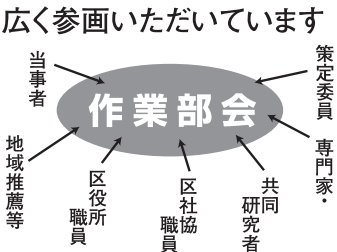
各部会で特色のある作業

具体的な策定作業を進めていく組織として、高齢者、こども、しょうがい者、女性、在日韓国朝鮮人・外国籍住民の五つの分野別に作業部会が設置されています。作業部会のメンバーには、策定委員、当事者、専門家、地域から推薦された人等を中心に大学院生・大学生等の共同研究者、区役所職員、区社協職員が事務局的に参画し、あわせて二二四人に

なっています。月一回集まり、策定作業を進めています。このように広い範囲の皆さんの参画が得られたことが生野区地域福祉アクションプランの策定作業の大きな特色になっています。

※しょうがい者部会で策定作業においては「しょうがい者」と表現することになりました。

作業部会の動きなど情報共有化のために「生野AP協働通信」を作成しています。ご関心のある方には、区社協窓口で設置しているほか、メールマガジンで送付しますので、ご希望の方はメールアドレス iknvp@osakacity-vnet.or.jp まで



- 高齢者部会**
大門 健二 生野区地域振興会
出口健次郎 北翼社会福祉協議会
刀根 一 生野区商店会連盟
永井 正美 生野区社会福祉施設連絡会
藤原 俊治 生野区社会福祉協議会
古谷まさ子 生野区老人クラブ連合会
○洪 東基 生野区居宅介護支援事業者連絡会
荻野五百子 生野区民生委員協議会
宮川 松剛 生野区医師会
岡崎和佳子 看護師
尾上 剛司 永和信用金庫
酒井 初江 ケアプラン自己作成当事者
南 榮 ゆとりの会
○吉本てるみ 市民公募
大山 達成 箕東社会福祉協議会
○川岸 祺子 箕社会福祉協議会
岸本みゆき 砂田社会福祉協議会
砂田美代子 鶴橋社会福祉協議会
田中 康博 田島社会福祉協議会
松川 孝子 箕南社会福祉協議会
松倉 正三 西生野社会福祉協議会
松本 国恵 舍利寺社会福祉協議会
文 鐘聲 大阪大学大学院 医学系研究科
木下 佳子 立命館大学 産業社会学部人間福祉学科
上林 幸男 関西学院大学大学院 社会学研究科
田林 道雄 生野区役所
田村千賀子 生野区役所
稲森 満男 生野区役所
篠原 智子 生野区社協
末長 秀教 生野区社協
- こども部会**
伊良波ミツエ 生野区子供育成連合会
金 弘修 大阪朝鮮第四初級学校
○桑田日出男 生野区社会福祉施設連絡会
小西 健治 生野区青少年指導員連絡協議会
○田淵 知見 生野・天王寺地域子育て支援センター園
○月川 至 NPO法人 出発のなかまの会
中村恵美子 市民委員
松井 研次 生野産業会
宮本長三郎 生野区コミュニティ協会
○山野 寿一 生野区PTA協議会
足立 須香 地域（東成区・生野区）人権推進委員会
川上 哲司 東桃谷社会福祉協議会
菊井 恵子 生野南社会福祉協議会
中島 義雄 市民公募
西川 和子 此花学院高等学校学生
山下香奈子 勝山高等学校学生
原田 雄太 金光藤藤高等学校学生
三尾 亮太 勝山社会福祉協議会
後藤 暁子 北鶴橋社会福祉協議会
山崎 幹子 生野社会福祉協議会
土橋 芳申 北翼社会福祉協議会
松田実千代 小路社会福祉協議会
和多田信子 同胞保護者連絡会
高 用哲 大池中学校
古川 正博 トモノス生野
浦 紳一 同志社大学大学院 文学研究科
金 貞淑 桃山学院大学 社会学部
高落 洋樹 生野区役所
茂森 稔 生野区役所
喜多 均 生野区役所
橋 裕美 生野区役所
亀岡 直樹 生野区社協
武 直樹 生野区社協

あなたの善意を 地域福祉に活かします

善意銀行

善意銀行は、区民の皆様や会社・団体のご寄付をお受けして、地域福祉の推進のための活動などに活かすことを目的とする善意の銀行です。香典返しの一部や会社・工場などの記念事業にともなうご寄付など「金銭」や「物品」で暖かい皆さんの善意の預託をお受けしています。

なお、善意銀行への寄付金は税法上の控除の対象となります。

暖かい善意

寄付
金銭・物品

善意銀行

区内のさまざまな
福祉事業に活用

払出

二〇〇四年六月二十九日―二〇〇五年二月二五日の期間に預託いただいた方は次のとおりです。本当にありがとうございます。

☆金銭の「寄付」

（順不同・敬称略）

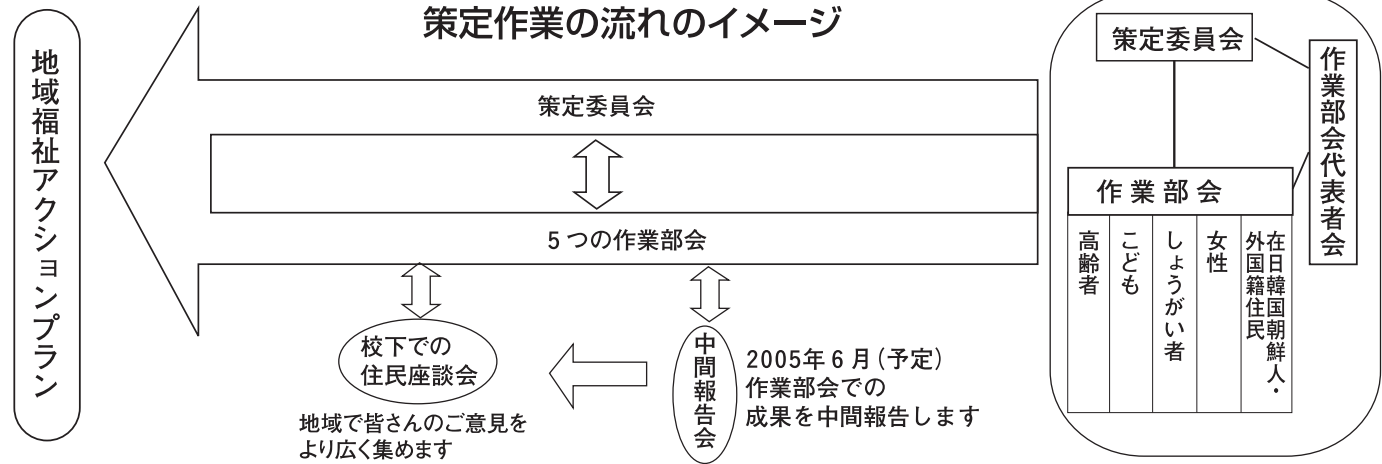
崔基沃／ロート製薬従業員有志一同／匿名（四）／武直樹／ロート博昭／マイケアプラン研究会・佐竹紀美子／区社協女性部会（生野まつり収益金）／大阪東部ヤクルト販売／鼻崎純子／福田栄之輔／明るい社会づくり運動城南青空ねっとわーく／生野遊技業組合・善意の箱事業委員会／清水良三

☆物品の「寄付」

（順不同・敬称略）

田中勇（車いす）／西井登美男（菓子）／東桃谷社会福祉協議会（洗剤）／網島守（タオル等）／プーリ学院同窓会（ウエス）／金光藤藤高等学校PTA会長九之池榮一（車いす二台）
また、次のところに払出しをおこないました。
区内十九校下社会福祉協議会（車いす）／生野区社会福祉施設連絡会（福祉マップ改訂版）

策定作業の流れのイメージ





生野区デイサービスセンター連絡会（以下連絡会）では、昨年十月から十一月にかけて「デイサービスボランティアスクール」を開催しました。

連絡会では、以前からデイサービスセンターにおけるボランティアの役割の重要性を感じていました。そして、まだまだデイサービスで活動しているボランティアが少ない現状をみて、デイサービスでの活動を主としたボランティアを育成していきたい、もっとデイサービスというものを知っていただきたいという思いからデイサービス専門のボランティアスクールを企画するにいたしました。

受講者は、まったく活動が初めての方々を中心に、中にはヘルパーの資格を持っている方や実際ボランティア活動をされている方など様々でした。講座や施設体験などをおこない、ボランティアというものの、デイサービスというものをより身近に感じ、理解していただけたと思います。

また、施設側もボランティア受け入れの勉強になりました。

ボランティアグループ立ち上げる!!

ボランティアスクール修了後、受講者の方々の提案で修了者が発足しました。その修了者が連絡会のスタッフ、ボランティアビュローのコーディネーターも参加し、今後の活動について様々な意見を交換しました。

その修了者の呼びかけでボランティアグループが立ち上がりました。名前は「デイサービスボランティアグループ さくら」です。

今後、連絡会と「さくら」は連携し、共にデイサービスセンターを盛り上げていきます。

デイサービスセンターでの活動を主としたボランティアグループが誕生!!

デイサービスボランティアグループ【さくら】



介護教室が地域で広がっています 転倒予防・認知症（痴呆）予防 車椅子体験・介護教室の開催

皆さんの身近な場所、高齢者の介護等について気軽に相談できる場所が在宅介護支援センターです。

生野区内では8箇所あります。大阪市の事業で福祉施設が運営しています。

特徴は介護保険の事や保健福祉サービス等の様々な相談に応じしています。

介護支援センターでは相談以外にも高齢者のための転倒予防教室や認知症（痴呆）予防教室、車椅子体験学習、介護技術の教室など様々な企画を行っています。

また、施設側もボランティア受け入れの勉強になりました。

ボランティアグループ立ち上げる!!

ボランティアスクール修了後、受講者の方々の提案で修了者が発足しました。その修了者が連絡会のスタッフ、ボランティアビュローのコーディネーターも参加し、今後の活動について様々な意見を交換しました。

その修了者の呼びかけでボランティアグループが立ち上がりました。名前は「デイサービスボランティアグループ さくら」です。

今後、連絡会と「さくら」は連携し、共にデイサービスセンターを盛り上げていきます。

皆さん熱心に取り組まれています。

9月開催の2回目は、認知症（痴呆）について3回に分けて開催しました。認知症（痴呆）を理解するための講義、陶芸を用いた作業療法、アロマテラピー（芳香療法）のいろいろな視点を織り交ぜながら頭と心の健康を学びました。

東小路地域では、新生野地域担当の在宅介護支援センター瑞光苑主催、東小路社会福祉協議会協力のもとに介護教室が4回開催されました。

5月に峯クリニック院長の峯先生による腰痛の話と飯田先生による水虫・たむしの話の教室を始めとして、

9月に生野区社会福祉協議会の作業療法士と福祉用具業者のケアライフさんによる転倒しないための用具選び（歩行器・靴・杖）の教室、12月に生野区保健福祉センターの保健師さんによる認知症（痴呆）についての教室、2月に大阪府レクリエーション協会の善家先生による体操を中心とした腰痛予防の教室が開催されました。

生野地域担当の在宅介護支援センターのサン・アクリア主催による認知症（痴呆）予防教室が小路社会福祉協議会協力のもと開催されました。大阪市社会福祉研修・情報センターの沖田

先生を講師に迎え、初めての介護教室でしたが、たくさんの方々が参加され、認知症について勉強しました。



ベッドでの介護実習中



口腔衛生 みんなで実践中



認知症(痴呆症)の講義



峯先生による腰痛の話



保健師さんによる認知症の話



寺坂先生の運動療法教室



みんなでレクリエーション

東小路地域では、新生野地域担当の在宅介護支援センター瑞光苑主催、東小路社会福祉協議会協力のもとに介護教室が4回開催されました。

6月に寺坂接骨院の寺坂先生による自宅で行える転倒しないための運動療法と実践の教室を始めとして、

9月に瑞光苑ケアプランセンターの高野さんによる脳クリエーションを中心に脳と身体を使った笑いながら行える体操やゲームの教室、

12月には生野区保健福祉センターの保健師さんによる

認知症（痴呆）についての

教室、3月には生野区社会福祉協議会の作業療法士と福祉用具業者のゴトウ・アズ・プランニングさんによる転倒しないための福祉用具の選び方（お風呂用具、靴・杖）の教室が開催されました。

舎利寺地域では、8月に生野東地域担当の在宅介護支援センター夢の箱と生野区保健福祉センターの保健師さんが講師となり、舎利寺社会福祉協議会主催の老人教室に「転ばぬ先の杖」と題して転倒予防教室が開催され、クイズも織り交ぜながらの分かりやすい内容で盛り上がりました。

西生野地域では、6月に西生野地域ネットワーク委員会と在宅介護支援センター夢の箱主催でボランティアスクール車椅子体験学習が開催されました。

33人もの参加があり、その内の5人は生野区在住の方の参加でした。

要介護1以上の高齢者を現に家庭で介護している市内在住の家族の方を対象に、日頃の介護疲れを癒し、心身ともにリフレッシュしていただくことを目的として平成16年10月8日、生野区社協と4区の区社協の合同により、参加者同士の懇談会や食事会などを信貴山観光ホテルにて開催しました。

家族介護者のつどい
リフレッシュ事業



車椅子体験中



クイズで学ぶ転等予防



懇談会

※厚生労働省の主旨により、『痴呆』に替わる用語として『認知症』が用いられることになりました。